

注3

大学番号：私立061

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

中央学院大学 現代教養学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人中央学院
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長企画部

職名・氏名

電話番号 04-7183-6517

（夜間） 04-7183-6501

F A X 04-7183-6502

e-mail

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

現代教養学部

＜現代教養学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	23
4. 既設大学等の状況	24

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人中央学院

(2) 大 学 名

中央学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒270-1196
千葉県我孫子久寺家451

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ヨシノ ケンジ) 吉野 賢治 (平成23年12月18日)	(サトウ マサノブ) (シンドウ テルヒコ) 佐藤 昌信 進藤 暉彦 (平成30年9月26日) (平成28年12月24日)	任期満了による変更 平成28年12月24日 (29) 辞任による変更 平成30年9月26日 (元)
学 長	(サトウ ヒデアキ) 佐藤 英明 (平成26年7月1日)	(イチカワ ヒトシ) 市川 仁 (平成30年7月1日)	任期満了による変更 平成30年7月1日 (元)
学 部 長	(サトウ ヒロシ) 佐藤 寛 (平成29年4月1日)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
現代教養学部 現代教養学科 学士(教養学)	文学関係 社会学・社会福祉学関係	4年	100人	年次人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100人 100 (-) [-]	-人	100人 100 (-) [-]	-人	100人 100 (-) [-]	-人	100人 100 (-) [-]	-人	100人 100 (-) [-]	-人	0.93倍	- 倍	平成29年5月1日時点で留学ビザが確認できていない留学生1名を除く(29) 平成29年5月1日時点で留学ビザが確認できていなかった留学生1名について、平成29年6月13日に確認が取れたため平成29年度の春季入学者数を修正(30) 令和2年5月1日時点で新型コロナウイルスに関する水際対策強化に係る新たな措置により入国拒否対象地域に在住する学生について留学ビザが確認できていない留学生1名を除く(2)
志願者数	86 (-) [5]	-	255 (-) [52]	-	424 (-) [39]	-	655 (2) [38]	-	655 (2) [38]	-			
受験者数	82 (-) [4]	-	243 (-) [51]	-	400 (-) [33]	-	629 (1) [35]	-	629 (1) [35]	-			
合格者数	73 (-) [4]	-	186 (-) [13]	-	245 (-) [8]	-	300 (0) [11]	-	300 (0) [11]	-			
B 入学者数	35 34 (-) [3] [2]	- -	111 (-) [8]	- -	110 (-) [7]	- -	116 (0) [6]	- -	116 (0) [6]	- -			
入学定員超過率 B/A	0.35 0.34		1.11		1.10		1.16						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
1 年次	35 34 [3] [2] (-)	- [-] (-)	111 [8] (-)	- [-] (-)	110 [7] (-)	- [-] (-)	117 [6] (-)	- [-] (-)	平成29年5月1日時点で留学ビザが確認できていない留学生1名を除く (29)		
2 年次			29 [2] (-)	- [-] (-)	108 [8] (-)	- [-] (-)	101 [6] (-)	- [-] (-)	平成29年5月1日時点で留学ビザが確認できていなかった留学生1名について、平成29年6月13日に確認が取れたため平成29年度の春季入学者数を修正 (30)		
3 年次					28 [2] (-)	- [-] (-)	100 [6] (-)	- [-] (-)	令和元年5月1日時点で商学部より現代教養学部2年次への転学部生1名有 (元)		
4 年次							27 [1] (-)	- [-] (-)	令和2年5月1日時点で新型コロナウイルスに関する水際対策強化に係る新たな措置により入国拒否対象地域に在住する学生について留学ビザが確認できていない留学生1名を除く (2)		
計	35 34 [3] [2] (-)		140 [10] (-)		246 [17] (-)		345 [19] (-)		1年次-春季入学欄の117名は、休学から復学した者1名を含む (2)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) 一④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成29年度	35 人	5 人	平成29年度	5 人	1 人	「他の教育機関への入学・転学(2人)」、「学生個人の心身に関する事情(2人)」 [除籍(1人)]
平成30年度	141 人	1 人	平成29年度	1 人	0 人	「他の教育機関への入学・転学(1人)」
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	251 人	5 人	平成29年度	1 人	0 人	「就学意欲の低下(1人)」
			平成30年度	4 人	0 人	「他の教育機関への入学・転学(3人)」、「就職(1人)」
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	345 人	17 人	平成29年度	1 人	1 人	[除籍(1人)]
			平成30年度	8 人	2 人	「他の教育機関への入学・転学(2人)」、「就職(2人)」、 「除籍(1人)」、「就学意欲の低下(1人)」 [除籍(2人)]
			令和元年度	8 人	2 人	「他の教育機関への入学・転学(3人)」、「就職(1人)」、 「経済的理由(1人)」、「本人死亡(1人)」 [他の教育機関への入学・転学(1人)]、[健康上の理由(1人)]
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		28 人		28 人	6 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{35} = \boxed{14.28} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{141} = \boxed{0.7} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{251} = \boxed{1.99} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{17}{345} = \boxed{4.92} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜現代教養学部 現代教養学科＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
初 年 次 教 育 科 目	現代教養入門Ⅰ	1前	2			3	1				1
	現代教養入門Ⅱ	1後	2			3	1				
	メディアリテラシー	1前	2								
	私たちの生活とコミュニケーション	1後	2			1					
	日本語表現基礎論	1前	2					1			
	日本語表現実践論	1後	2					1			
	小計（6科目）					5	2	1	0	0	
教 育 科 目 2 年 次	日本語文章作成基礎論	2前	2					1			
	日本語文章作成実践論	2後	2					1			
	小計（2科目）					0	0	1	0	0	0
言 語 ス キ ル 科 目	英語リスニング・スピーキング基礎	1前	1						2		1
	英語リスニング・スピーキング実践	1後	1						2		1
	英語リーディング・ライティング基礎	1前	1						2		1
	英語リーディング・ライティング実践	1後	1						2		1
	コミュニケーション英語基礎 (Writing)	2前	1						2		1
	コミュニケーション英語実践 (Writing)	2後		1					2		1
	コミュニケーション英語基礎 (Speaking)	2前	1						2		1
	コミュニケーション英語実践 (Speaking)	2後		1					2		1
	英語会話	3前		1							1
	英語会話実践	3後		1							1
	中国語 1	1前		1							1
	中国語 2	1後		1							1
	中国語 3	2前		1							1
	中国語 4	2後		1							1
	コリア語 1	1前		1							1
	コリア語 2	1後		1							1
	コリア語 3	2前		1							1
	コリア語 4	2後		1							1
	ドイツ語 1	1前		1		1					
	ドイツ語 2	1後		1		1					
	ドイツ語 3	2前		1		1					
	ドイツ語 4	2後		1		1					
	フランス語 1	1前		1							1
	フランス語 2	1後		1							1
	フランス語 3	2前		1							1
	フランス語 4	2後		1							1
	小計（26科目）					1	0	0	2	0	6
情 報 ス キ ル 科 目	情報リテラシー	1前	2						1		
	情報処理論の基礎	1後	2						1		
	情報処理論	2前		2					1		
	情報表現論	2後		2					1		
	小計（4科目）					0	0	0	1	0	0
健 康 ス キ ル 科 目	スポーツ健康論	1前		2			1				
	スポーツ実践論	1後		2				1			
	ストレスマネジメント	1前		2							1
	メンタルヘルスとセルフケア	1後		2							1
	小計（4科目）					0	1	1	0	0	1

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
初 年 次 教 育 科 目	現代教養入門Ⅰ	1前	2			3	1				1
	現代教養入門Ⅱ	1後	2			3	1				
	メディアリテラシー	1前	2								
	私たちの生活とコミュニケーション	1後	2			1					
	日本語表現基礎論	1前	2					1			
	日本語表現実践論	1後	2					1			
	小計（6科目）					5	2	1	0	0	
教 育 科 目 2 年 次	日本語文章作成基礎論	2前	2					1			
	日本語文章作成実践論	2後	2					1			
	小計（2科目）					0	0	1	0	0	0
言 語 ス キ ル 科 目	英語リスニング・スピーキング基礎	1前	1					1	1		1
	英語リスニング・スピーキング実践	1後	1					1	1		1
	英語リーディング・ライティング基礎	1前	1					1	1		1
	英語リーディング・ライティング実践	1後	1					1	1		1
	コミュニケーション英語基礎 (Writing)	2前	1					1	1		
	コミュニケーション英語実践 (Writing)	2後		1				1	1		
	コミュニケーション英語基礎 (Speaking)	2前	1					1	1		1
	コミュニケーション英語実践 (Speaking)	2後		1				1	1		1
	英語会話	3前		1							1
	英語会話実践	3後		1							1
	中国語 1	1前		1							1
	中国語 2	1後		1							1
	中国語 3	2前		1							1
	中国語 4	2後		1							1
	コリア語 1	1前		1							1
	コリア語 2	1後		1							1
	コリア語 3	2前		1							1
	コリア語 4	2後		1							1
	ドイツ語 1	1前		1		1					
	ドイツ語 2	1後		1		1					
	ドイツ語 3	2前		1		1					
	ドイツ語 4	2後		1		1					
	フランス語 1	1前		1							1
	フランス語 2	1後		1							1
	フランス語 3	2前		1							1
	フランス語 4	2後		1							1
	小計（26科目）					1	0	1	1	0	6
情 報 ス キ ル 科 目	情報リテラシー	1前	2						0		1
	情報処理論の基礎	1後	2						0		1
	情報処理論	2前		2					0		1
	情報表現論	2後		2					0		1
	小計（4科目）					0	0	0	0		2
健 康 ス キ ル 科 目	スポーツ健康論	1前		2			1				
	スポーツ実践論	1後		2				1			
	ストレスマネジメント	1前		2							1
	メンタルヘルスとセルフケア	1後		2							1
	小計（4科目）					0	1	1	0	0	1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文の理解科目	哲学概論	1・2前		2			1				
	哲学と市民社会	1・2後		2			1				
	論理学概論	1・2前		2			1				
	論理と言語	1・2後		2			1				
	倫理学Ⅰ	1・2前		2							1
	倫理学Ⅱ	1・2後		2							1
	心理学概論	1・2前		2		1					
	青年の心理	1・2後		2		1					
	歴史学(世界史)Ⅰ	1・2前		2							1
	歴史学(世界史)Ⅱ	1・2後		2							1
	日本史(前近代)	1・2前		2							1
	日本史(近現代)	1・2後		2							1
小計(12科目)						1	1	0	0	0	3
社会の理解科目	法学概論	1・2前		2			1				
	法と市民	1・2後		2			1				
	憲法概論	1・2前		2			1				
	統治の制度	1・2後		2			1				
	民法総則	1・2前		2							1
	政治学Ⅰ	1・2前		2							1
	政治学Ⅱ	1・2後		2							1
	選挙と政治	1・2後		2							1
	経済と社会	1・2前		2		1					
	経済の歴史	1・2後		2		1					
	社会学	1・2前		2			1				
小計(11科目)						1	2	0	0	0	2
自然の理解科目	数学Ⅰ	1・2前		2							1
	数学Ⅱ	1・2後		2							1
	統計学	1・2前		2							1
	数理統計学	1・2後		2							1
	物理学Ⅰ	1・2前		2							1
	物理学Ⅱ	1・2後		2							1
	地球環境論	1・2前		2							1
	自然環境論	1・2後		2							1
	自然科学概論Ⅰ	1・2前		2							1
	自然科学概論Ⅱ	1・2後		2							1
	生物学Ⅰ	1・2前		2							1
	生物学Ⅱ	1・2後		2							1
小計(12科目)						0	0	0	0	0	5
現代社会系科目	社会思想論	2前		2							1
	社会学の歴史	2後		2			1				
	現代の地域行政	2前		2			1				
	ジェンダー論	2後		2			1				
	流通と消費者	2前		2							1
	現代社会論	2後		2			1				
小計(6科目)						0	2	0	0	0	2
人間文化系科目	宗教学	2前		2		1					
	現代思想論	2後		2			1				
	発達心理学	2前		2		1					
	認知心理学	2後		2							1
	健康スポーツ科学	2前		2				1			
小計(5科目)						2	1	1	0	0	1

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文の理解科目	哲学概論	1・2前		2			1				
	哲学と市民社会	1・2後		2			1				
	論理学概論	1・2前		2			1				
	論理と言語	1・2後		2			1				
	倫理学Ⅰ	1・2前		2							1
	倫理学Ⅱ	1・2後		2							1
	心理学概論	1・2前		2		1					
	青年の心理	1・2後		2		1					
	歴史学(世界史)Ⅰ	1・2前		2							1
	歴史学(世界史)Ⅱ	1・2後		2							1
	日本史(前近代)	1・2前		2							1
	日本史(近現代)	1・2後		2							1
小計(12科目)						1	1	0	0	0	3
社会の理解科目	法学概論	1・2前		2			1				
	法と市民	1・2後		2			1				
	憲法概論	1・2前		2			1				
	統治の制度	1・2後		2			1				
	民法総則	1・2前		2							1
	政治学Ⅰ	1・2前		2							1
	政治学Ⅱ	1・2後		2							1
	選挙と政治	1・2後		2							1
	経済と社会	1・2前		2		1					
	経済の歴史	1・2後		2		1					
	社会学	1・2前		2			1				0
小計(11科目)						1	2	0	0	0	2
自然の理解科目	数学Ⅰ	1・2前		2							1
	数学Ⅱ	1・2後		2							1
	統計学	1・2前		2							1
	数理統計学	1・2後		2							1
	物理学Ⅰ	1・2前		2							1
	物理学Ⅱ	1・2後		2							1
	地球環境論	1・2前		2							1
	自然環境論	1・2後		2							1
	自然科学概論Ⅰ	1・2前		2							1
	自然科学概論Ⅱ	1・2後		2							1
	生物学Ⅰ	1・2前		2							1
	生物学Ⅱ	1・2後		2							1
小計(12科目)						0	0	0	0	0	5
現代社会系科目	社会思想論	2前		2							1
	社会学の歴史	2後		2			1				
	現代の地域行政	2前		2			1				
	ジェンダー論	2後		2			1				
	流通と消費者	2前		2							1
	現代社会論	2後		2			1				
小計(6科目)						0	2	0	0	0	2
人間文化系科目	宗教学	2前		2		1					
	現代思想論	2後		2			1				
	発達心理学	2前		2							
	認知心理学	2後		2							1
	健康スポーツ科学	2前		2				1			
小計(5科目)						2	1	1	0	0	1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
異文化系科目	文化学概論	2前		2		1					1
	文化人類学	2前		2				1			
	比較社会論	2後		2			1	1			
	日本文化論	2前		2							
	比較文化論	2後		2		1					
	小計（5科目）					1	1	2	0	0	1
コミュニケーション系科目	コミュニケーションの基礎	2前		2		1					
	マスコミュニケーション論	2後		2		1					
	メディア文化論	2前		2		1					
	人間科学	2後		2		1	2				
	人間関係論	2後		2							
	小計（5科目）					2	2	0	0	0	1
専門基礎実践科目	地域と社会	2前		2			1				1
	地域連携講座	2後		2			1				
	ボランティア学	2前		2							
	地域ボランティア実践	2後		2							
	社会調査法	3前		2							
	社会調査フィールドワーク	3後		2							1
	外国文化研究Ⅰ	1前		2							1
	外国文化研究Ⅱ	1後		2							1
	異文化社会研修基礎講座	2前		2			1				
	異文化社会現地研修	2後		2			1				
	小計（10科目）					0	1	0	0	0	3
現代社会系科目	生命科学	2前		2			1				1
	生命科学と技術	2後		2			1				
	現代日本の社会と経済	2前		2		1					
	現代アジアの社会と経済	2後		2		1					
	国際関係論	3前		2		1					
	現代世界の政治経済と法	3後		2		1					
	地域と福祉	3前		2							
	地域と政策	3後		2			1				
	環境と社会	3前		2		1					
	環境問題と水資源	3後		2		1					
	男女共同参画論	3前		2			1				1
	NPO・NGO概論	3後		2							
	現代社会の流通システム	3前		2							
	ネット社会の流通	3後		2							
	労働法の基礎	3前		2							
	労働法の応用	3後		2							
	公共政策と政府の役割	3・4前		2			1				
	政府の活動と評価	3・4後		2			1				
	小計（18科目）					3	3	0	0	0	4

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
異文化系科目	文化学概論	2前		2		1					1
	文化人類学	2前		2				1			
	比較社会論	2後		2			1	1			
	日本文化論	2前		2							
	比較文化論	2後		2		1					
	小計（5科目）					1	1	2	0	0	1
コミュニケーション系科目	コミュニケーションの基礎	2前		2		1					
	マスコミュニケーション論	2後		2		1					
	メディア文化論	2前		2		1					
	人間科学	2後		2		1	2				
	人間関係論	2後		2							
	小計（5科目）					2	2	0	0	0	1
専門基礎実践科目	地域と社会	2前		2			1				1
	地域連携講座	2後		2			1				
	ボランティア学	2前		2							
	地域ボランティア実践	2後		2							
	社会調査法	3前		2							
	社会調査フィールドワーク	3後		2							1
	外国文化研究Ⅰ	1前		2							1
	外国文化研究Ⅱ	1後		2							1
	異文化社会研修基礎講座	2前		2			1	1			
	異文化社会現地研修	2後		2			1	1			
	小計（10科目）					1	1	0	0	0	4
現代社会系科目	生命科学	2前		2			1				1
	生命科学と技術	2後		2			1				
	現代日本の社会と経済	2前		2		1					
	現代アジアの社会と経済	2後		2		1					
	国際関係論	3前		2		1					
	現代世界の政治経済と法	3後		2		1					
	地域と福祉	3前		2							
	地域と政策	3後		2			1				
	環境と社会	3前		2		1					
	環境問題と水資源	3後		2		1					
	男女共同参画論	3前		2			1				1
	NPO・NGO概論	3後		2							
	現代社会の流通システム	3前		2							
	ネット社会の流通	3後		2							
	労働法の基礎	3前		2							
	労働法の応用	3後		2							
	公共政策と政府の役割	3・4前		2			1				
	政府の活動と評価	3・4後		2			1				
	小計（18科目）					3	3	0	0	0	4

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
人間文化系科目	世界史と現代	2前		2							1
	現代社会と宗教	2後		2		1					
	科学哲学	2前		2			1				
	社会思想史	2後		2							1
	表現論	2前		2							1
	文体論	2後		2							1
	道德と教育	3前		2			1				
	社会規範と市民	3後		2			1				
	日本思想論	3前		2							1
	仏教の思想	3後		2							1
	中国思想論	3前		2							1
	ユダヤ教の思想	3前		2		1					
	キリスト教の思想	3後		2		1					
	イスラム教の思想	3後		2							1
	日本史と現代	3前		2							1
	江戸時代の社会と文化	3後		2							1
	日本文学基礎論	3前		2				1			
	日本文学実践論	3後		2				1			
	道德と人間発達	3・4前		2			1				
	社会と芸術	3・4後		2		1					
	比較文学	3・4前		2							1
	我孫子と文学	3・4後		2							1
	小計（22科目）					2	2	1	0	0	8
異文化系科目	国際文化論	2前		2		1					
	都市文化論	2後		2		1					
	西欧の社会と文化	2前		2		1					
	中国の社会と文化	2後		2							1
	中東の社会と文化	3前		2							1
	イスラムの社会と文化	3後		2							1
	英米文学基礎論	3前		2					1		
	英米文学実践論	3後		2					1		
	スラヴの社会と文化	3・4前		2		1					
	宗教文化とツーリズム	3・4後		2				1			
	小計（10科目）					2	0	1	2	0	2
コミュニケーション系科目	情報社会と倫理	2前		2							1
	地域コミュニケーション	2後		2							1
	異文化コミュニケーション論	2前		2		1					
	スポーツとコーチング	2後		2				1			
	家族社会学	3前		2							1
	メディアコミュニケーション論	3後		2		1					
	産業心理学	3前		2							1
	ダイバーシティ論	3後		2			1				
	ビジネスコミュニケーション論	3・4前		2							1
	視覚化表現とコミュニケーション	3・4後		2					1		
	小計（10科目）					2	1	1	1	0	5
ゼミナール科目	基礎演習	1通	4			6	2	2	1		
	専門基礎演習	2通	4			8	6	3	1		
	専門応用演習	3通	4			8	6	3	1		
	卒業論文・卒業研究	4通	4			8	6	3	1		
	小計（4科目）					8	6	3	1	0	0

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
人間文化系科目	世界史と現代	2前		2							1
	現代社会と宗教	2後		2		1					
	科学哲学	2前		2			1				
	社会思想史	2後		2							1
	表現論	2前		2							1
	文体論	2後		2							1
	道德と教育	3前		2			1				
	社会規範と市民	3後		2			1				
	日本思想論	3前		2							1
	仏教の思想	3後		2							1
	中国思想論	3前		2							1
	ユダヤ教の思想	3前		2		1					
	キリスト教の思想	3後		2		1					
	イスラム教の思想	3後		2							1
	日本史と現代	3前		2							1
	江戸時代の社会と文化	3後		2							1
	日本文学基礎論	3前		2				1			
	日本文学実践論	3後		2				1			
	道德と人間発達	3・4前		2			1				
	社会と芸術	3・4後		2		1					
	比較文学	3・4前		2							1
	我孫子と文学	3・4後		2							1
	小計（22科目）					2	2	1	0	0	8
異文化系科目	国際文化論	2前		2		1					
	都市文化論	2後		2		1					
	西欧の社会と文化	2前		2		1					
	中国の社会と文化	2後		2							1
	中東の社会と文化	3前		2							1
	イスラムの社会と文化	3後		2							1
	英米文学基礎論	3前		2					1		
	英米文学実践論	3後		2				1	0		
	スラヴの社会と文化	3・4前		2		1					
	宗教文化とツーリズム	3・4後		2				1			
	小計（10科目）					2	0	2	1	0	2
コミュニケーション系科目	情報社会と倫理	2前		2							1
	地域コミュニケーション	2後		2							1
	異文化コミュニケーション論	2前		2		1					
	スポーツとコーチング	2後		2				1			
	家族社会学	3前		2							1
	メディアコミュニケーション論	3後		2		1					
	産業心理学	3前		2							1
	ダイバーシティ論	3後		2			1				
	ビジネスコミュニケーション論	3・4前		2							1
	視覚化表現とコミュニケーション	3・4後		2					0		1
	小計（10科目）					2	1	1	0	0	6
ゼミナール科目	基礎演習	1通	4			6	2	2	0		
	専門基礎演習	2通	4			8	6	3	0		
	専門応用演習	3通	4			8	6	3	0		
	卒業論文・卒業研究	4通	4			8	6	3	0		1
	小計（4科目）					8	6	3	0	0	1

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
言語 ス キ ル 科 目	日本語読解 1	1前		1							1
	日本語読解 2	1後		1							1
	日本語作文 1	1前		1							1
	日本語作文 2	1後		1							1
	日本語表記 1	1前		1							1
	日本語表記 2	1後		1							1
	日本語会話 1	1前		1							1
	日本語会話 2	1後		1							1
	日本語特講 1	1・2前		1							2
	日本語特講 2	1・2後		1							2
	日本語理解 1	1・2前		1							1
	日本語理解 2	1・2後		1							1
	小計（12科目）					0	0	0	0	0	6
基 礎 学 問 の 知 識	日本事情 A	2前		2							3
	日本事情 B	2後		2							3
	小計（2科目）					0	0	0	0	0	3
合計（186科目）						8	7	3	3	0	45
卒業要件及び履修方法											
【卒業要件】 4年以上在学し体系的に教育課程を履修・修得し、卒業に必要な単位として、124単位以上を修得することにより、「学士(教養学)」を授与する。 【履修方法】 ・基盤教育より必修科目26単位を含む50単位以上を修得すること。（留学生対象の日本語科目および「日本事情」科目を含む） ・専門教育より専門基礎「現代社会系科目」「人間文化系科目」「異文化系科目」「コミュニケーション系科目」から各4単位の16単位以上、専門基礎実践科目から4単位以上、「現代社会と人間文化系」「異文化とコミュニケーション系」から28単位以上の合計48単位以上を修得すること。 ・専門教育については、この48単位に加えて、専門教育科目全体（「専門基礎」および「現代社会と人間文化系」「異文化とコミュニケーション系」）から10単位以上修得し、計58単位以上を修得すること。 ・各学年に必修科目として設置されているゼミナール科目16単位を修得すること。 ・履修登録できる最高単位数は各学年42単位とする。											

【令和 2 年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
言語 ス キ ル 科 目	日本語読解 1	1前		1							1
	日本語読解 2	1後		1							1
	日本語作文 1	1前		1							1
	日本語作文 2	1後		1							1
	日本語表記 1	1前		1							1
	日本語表記 2	1後		1							1
	日本語会話 1	1前		1							1
	日本語会話 2	1後		1							1
	日本語特講 1	1・2前		1							2
	日本語特講 2	1・2後		1							2
	日本語理解 1	1・2前		1							1
	日本語理解 2	1・2後		1							1
	小計（12科目）					0	0	0	0	0	6
基 礎 学 問 の 知 識	日本事情 A	2前		2							2
	日本事情 B	2後		2							2
	小計（2科目）					0	0	0	0	0	2
合計（186科目）						8	7	3	2	0	40
卒業要件及び履修方法											
【卒業要件】 4年以上在学し体系的に教育課程を履修・修得し、卒業に必要な単位として、124単位以上を修得することにより、「学士(教養学)」を授与する。 【履修方法】 ・基盤教育より必修科目26単位を含む50単位以上を修得すること。（留学生対象の日本語科目および「日本事情」科目を含む） ・専門教育より専門基礎「現代社会系科目」「人間文化系科目」「異文化系科目」「コミュニケーション系科目」から各4単位の16単位以上、専門基礎実践科目から4単位以上、「現代社会と人間文化系」「異文化とコミュニケーション系」から28単位以上の合計48単位以上を修得すること。 ・専門教育については、この48単位に加えて、専門教育科目全体（「専門基礎」および「現代社会と人間文化系」「異文化とコミュニケーション系」）から10単位以上修得し、計58単位以上を修得すること。 ・各学年に必修科目として設置されているゼミナール科目16単位を修得すること。 ・履修登録できる最高単位数は各学年42単位とする。											

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
初年次教育科目	現代教養入門Ⅰ	1前	2			2	0				2
	現代教養入門Ⅱ	1後	2			2	1				1
	メディアリテラシー	1前	2								1
	私たちの生活とコミュニケーション	1後	2			1					
	日本語表現基礎論	1前	2					1			
	日本語表現実践論	1後	2					1			
	小計（6科目）					3	1	1	0	0	3
2年次教育科目	日本語文章作成基礎論	2前	2					1			
	日本語文章作成実践論	2後	2					1			
	小計（2科目）					0	0	1	0	0	0
言語スキル科目	英語リスニング・スピーキング基礎	1前	1						2		1
	英語リスニング・スピーキング実践	1後	1						2		1
	英語リーディング・ライティング基礎	1前	1						2		1
	英語リーディング・ライティング実践	1後	1						2		1
	コミュニケーション英語基礎(Writing)	2前	1						2		1
	コミュニケーション英語実践(Writing)	2後		1					2		1
	コミュニケーション英語基礎(Speaking)	2前	1						2		1
	コミュニケーション英語実践(Speaking)	2後		1					2		1
	英語会話	3前		1							1
	英語会話実践	3後		1							1
	中国語 1	1前		1							1
	中国語 2	1後		1							1
	中国語 3	2前		1							1
	中国語 4	2後		1							1
	コリア語 1	1前		1							1
	コリア語 2	1後		1							1
	コリア語 3	2前		1							1
	コリア語 4	2後		1							1
	ドイツ語 1	1前		1		1					
	ドイツ語 2	1後		1		1					
	ドイツ語 3	2前		1		1					
	ドイツ語 4	2後		1		1					
	フランス語 1	1前		1							1
	フランス語 2	1後		1							1
	フランス語 3	2前		1							1
	フランス語 4	2後		1							1
	小計（26科目）					1	0	0	2	0	5
情報スキル科目	情報リテラシー	1前	2						1		
	情報処理論の基礎	1後	2						1		
	情報処理論	2前		2					1		
	情報表現論	2後		2					1		
	小計（4科目）					0	0	0	1	0	0
健康スキル科目	スポーツ健康論	1前		2			1				
	スポーツ実践論	1後		2				0			1
	ストレスマネジメント	1前		2							1
	メンタルヘルスとセルフケア	1後		2							1
	小計（4科目）					0	1	0	0	0	2

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
初年次教育科目	現代教養入門Ⅰ	1前	2			3	0				1
	現代教養入門Ⅱ	1後	2			3	1				
	メディアリテラシー	1前	2								1
	私たちの生活とコミュニケーション	1後	2			1					
	日本語表現基礎論	1前	2					1			
	日本語表現実践論	1後	2					1			
	小計（6科目）					5	1	1	0	0	2
2年次教育科目	日本語文章作成基礎論	2前	2					1			
	日本語文章作成実践論	2後	2					1			
	小計（2科目）					0	0	1	0	0	0
言語スキル科目	英語リスニング・スピーキング基礎	1前	1							2	1
	英語リスニング・スピーキング実践	1後	1							2	1
	英語リーディング・ライティング基礎	1前	1							2	1
	英語リーディング・ライティング実践	1後	1							2	1
	コミュニケーション英語基礎(Writing)	2前	1							2	0
	コミュニケーション英語実践(Writing)	2後		1						2	0
	コミュニケーション英語基礎(Speaking)	2前	1							2	1
	コミュニケーション英語実践(Speaking)	2後		1						2	1
	英語会話	3前		1							1
	英語会話実践	3後		1							1
	中国語 1	1前		1							1
	中国語 2	1後		1							1
	中国語 3	2前		1							1
	中国語 4	2後		1							1
	コリア語 1	1前		1							1
	コリア語 2	1後		1							1
	コリア語 3	2前		1							1
	コリア語 4	2後		1							1
	ドイツ語 1	1前		1		1					
	ドイツ語 2	1後		1		1					
	ドイツ語 3	2前		1		1					
	ドイツ語 4	2後		1		1					
	フランス語 1	1前		1							1
	フランス語 2	1後		1							1
	フランス語 3	2前		1							1
	フランス語 4	2後		1							1
	小計（26科目）					1	0	0	2	0	5
情報スキル科目	情報リテラシー	1前	2							1	
	情報処理論の基礎	1後	2							1	
	情報処理論	2前		2						1	
	情報表現論	2後		2						1	
	小計（4科目）					0	0	0	1	0	0
健康スキル科目	スポーツ健康論	1前		2			1				
	スポーツ実践論	1後		2				1			
	ストレスマネジメント	1前		2							1
	メンタルヘルスとセルフケア	1後		2							1
	小計（4科目）					0	1	1	0	0	1

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文の理解科目	哲学概論 (未開講)	1・2前		2			1				
	哲学と市民社会	1・2後		2			1				
	論理学概論	1・2前		2			1				
	論理と言語	1・2後		2			1				
	倫理学Ⅰ	1・2前		2							1
	倫理学Ⅱ	1・2後		2							1
	心理学概論	1・2前		2		0					1
	青年の心理	1・2後		2		0					1
	歴史学(世界史)Ⅰ	1・2前		2							1
	歴史学(世界史)Ⅱ	1・2後		2							1
	日本史(前近代)	1・2前		2							1
	日本史(近現代)	1・2後		2							1
	小計(12科目)					0	1	0	0	0	4
社会の理解科目	法学概論	1・2前		2			1				
	法と市民 (未開講)	1・2後		2			1				
	憲法概論	1・2前		2			1				
	統治の制度 (未開講)	1・2後		2			1				
	民法総則	1・2前		2							1
	政治学Ⅰ	1・2前		2							1
	政治学Ⅱ	1・2後		2							1
	選挙と政治	1・2後		2							1
	経済と社会	1・2前		2		0					1
	経済の歴史	1・2後		2		0					1
	社会学	1・2前		2		0					1
	小計(11科目)					0	1	0	0	0	4
自然の理解科目	数学Ⅰ	1・2前		2							1
	数学Ⅱ	1・2後		2							1
	統計学	1・2前		2							1
	数理統計学	1・2後		2							1
	物理学Ⅰ	1・2前		2							1
	物理学Ⅱ	1・2後		2							1
	地球環境論	1・2前		2							1
	自然環境論	1・2後		2							1
	自然科学概論Ⅰ	1・2前		2							1
	自然科学概論Ⅱ	1・2後		2							1
	生物学Ⅰ	1・2前		2							1
	生物学Ⅱ	1・2後		2							1
	小計(12科目)					0	0	0	0	0	5
現代社会系科目	社会思想論	2前		2							1
	社会学の歴史	2後		2			1				
	現代の地域行政	2前		2			1				
	ジェンダー論	2後		2			1				
	流通と消費者	2前		2							1
	現代社会論	2後		2			1				
	小計(6科目)					0	0	0	0	0	2
人間文化系科目	宗教学	2前		2		1					
	現代思想論	2後		2			1				
	発達心理学	2前		2		1					
	認知心理学	2後		2							1
	健康スポーツ科学	2前		2				1			
	小計(5科目)					1	1	0	0	0	1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文の理解科目	哲学概論	1・2前		2			1				
	哲学と市民社会	1・2後		2			1				
	論理学概論	1・2前		2			1				
	論理と言語	1・2後		2			1				
	倫理学Ⅰ	1・2前		2							1
	倫理学Ⅱ	1・2後		2							1
	心理学概論	1・2前		2		1					
	青年の心理	1・2後		2		1					
	歴史学(世界史)Ⅰ	1・2前		2							1
	歴史学(世界史)Ⅱ	1・2後		2							1
	日本史(前近代)	1・2前		2							1
	日本史(近現代)	1・2後		2							1
	小計(12科目)					1	1	0	0	0	3
社会の理解科目	法学概論	1・2前		2			1				
	法と市民	1・2後		2			1				
	憲法概論	1・2前		2			1				
	統治の制度	1・2後		2			1				
	民法総則	1・2前		2							1
	政治学Ⅰ	1・2前		2							1
	政治学Ⅱ	1・2後		2							1
	選挙と政治	1・2後		2							1
	経済と社会	1・2前		2		1					
	経済の歴史	1・2後		2		1					
	社会学	1・2前		2			1				
	小計(11科目)					1	2	0	0	0	2
自然の理解科目	数学Ⅰ	1・2前		2							1
	数学Ⅱ	1・2後		2							1
	統計学	1・2前		2							1
	数理統計学	1・2後		2							1
	物理学Ⅰ	1・2前		2							1
	物理学Ⅱ	1・2後		2							1
	地球環境論	1・2前		2							1
	自然環境論	1・2後		2							1
	自然科学概論Ⅰ	1・2前		2							1
	自然科学概論Ⅱ	1・2後		2							1
	生物学Ⅰ	1・2前		2							1
	生物学Ⅱ	1・2後		2							1
	小計(12科目)					0	0	0	0	0	5
現代社会系科目	社会思想論	2前		2							1
	社会学の歴史	2後		2			1				
	現代の地域行政	2前		2			0				1
	ジェンダー論	2後		2			1				
	流通と消費者	2前		2							1
	現代社会論	2後		2			1				
	小計(6科目)					0	1	0	0	0	3
人間文化系科目	宗教学	2前		2		1					
	現代思想論	2後		2			1				
	発達心理学	2前		2		1					
	認知心理学	2後		2							1
	健康スポーツ科学	2前		2				1			
	小計(5科目)					2	1	1	0	0	1

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
異文化系科目	文化学概論	2前		2		1					
	文化人類学	2前		2				1			
	比較社会論	2後		2			1	1			
	日本文化論	2前		2							1
	比較文化論	2後		2		1					
	小計（5科目）					1	1	2	0	0	1
コミュニケーション系科目	コミュニケーションの基礎	2前		2		1					
	マスコミュニケーション論	2後		2		1					
	メディア文化論	2前		2		1					
	人間科学	2後		2		1	2				
	人間関係論	2後		2							1
	小計（5科目）					2	2	0	0	0	1
専門基礎実践科目	地域と社会	2前		2			1				
	地域連携講座	2後		2			1				
	ボランティア学	2前		2							1
	地域ボランティア実践	2後		2							1
	社会調査法	3前		2							1
	社会調査フィールドワーク	3後		2							1
	外国文化研究Ⅰ（未開講）	1前		2							1
	外国文化研究Ⅱ（未開講）	1後		2							1
	異文化社会研修基礎講座	2前		2			1				
	異文化社会現地研修	2後		2			1				
	小計（10科目）					0	1	0	0	0	3
現代社会系科目	生命科学	2前		2			1				
	生命科学と技術	2後		2			1				
	現代日本の社会と経済	2前		2		1					
	現代アジアの社会と経済	2後		2		1					
	国際関係論	3前		2		1					
	現代世界の政治経済と法	3後		2		1					
	地域と福祉	3前		2							1
	地域と政策	3後		2			1				
	環境と社会	3前		2		1					
	環境問題と水資源	3後		2		1					
	男女共同参画論	3前		2			1				
	NPO・NGO概論	3後		2							1
	現代社会の流通システム	3前		2							1
	ネット社会の流通	3後		2							1
	労働法の基礎	3前		2							1
	労働法の応用	3後		2							1
	公共政策と政府の役割	3・4前		2			1				
	政府の活動と評価	3・4後		2			1				
	小計（18科目）					3	3	0	0	0	4

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
異文化系科目	文化学概論	2前		2		1					
	文化人類学	2前		2				0			1
	比較社会論	2後		2			1	0			1
	日本文化論	2前		2							1
	比較文化論	2後		2		1					
	小計（5科目）					1	1	0	0	0	3
コミュニケーション系科目	コミュニケーションの基礎	2前		2		1					
	マスコミュニケーション論	2後		2		1					
	メディア文化論	2前		2		1					
	人間科学	2後		2		1	2				
	人間関係論	2後		2							1
	小計（5科目）					2	2	0	0	0	1
専門基礎実践科目	地域と社会	2前		2			0				1
	地域連携講座	2後		2			0				1
	ボランティア学	2前		2							1
	地域ボランティア実践	2後		2							1
	社会調査法	3前		2							1
	社会調査フィールドワーク	3後		2							1
	外国文化研究Ⅰ（未開講）	1前		2							1
	外国文化研究Ⅱ（未開講）	1後		2							1
	異文化社会研修基礎講座（未開講）	2前		2			1				
	異文化社会現地研修（未開講）	2後		2			1				
	小計（10科目）					0	1	0	0	0	4
現代社会系科目	生命科学	2前		2			1				
	生命科学と技術	2後		2			1				
	現代日本の社会と経済	2前		2		1					
	現代アジアの社会と経済	2後		2		1					
	国際関係論	3前		2		1					
	現代世界の政治経済と法	3後		2		1					
	地域と福祉	3前		2							1
	地域と政策	3後		2			1				
	環境と社会	3前		2		1					
	環境問題と水資源	3後		2		1					
	男女共同参画論	3前		2			1				
	NPO・NGO概論	3後		2							1
	現代社会の流通システム	3前		2							1
	ネット社会の流通	3後		2							1
	労働法の基礎	3前		2							1
	労働法の応用	3後		2							1
	公共政策と政府の役割	3・4前		2			1				
	政府の活動と評価	3・4後		2			1				
	小計（18科目）					3	3	0	0	0	4

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間文化系科目	世界史と現代	2前		2							1
	現代社会と宗教	2後		2		1					
	科学哲学	2前		2			1				
	社会思想史	2後		2							1
	表現論	2前		2							1
	文体論	2後		2							1
	道德と教育	3前		2			1				
	社会規範と市民	3後		2			1				
	日本思想論	3前		2							1
	仏教の思想	3後		2							1
	中国思想論	3前		2							1
	ユダヤ教の思想	3前		2		1					
	キリスト教の思想	3後		2		1					
	イスラム教の思想	3後		2							1
	日本史と現代	3前		2							1
	江戸時代の社会と文化	3後		2							1
	日本文学基礎論	3前		2				1			
	日本文学実践論	3後		2				1			
	道德と人間発達	3・4前		2			1				
	社会と芸術	3・4後		2		1					
	比較文学	3・4前		2							1
	我孫子と文学	3・4後		2							1
	小計（22科目）					2	2	1	0	0	8
異文化系科目	国際文化論	2前		2		1					
	都市文化論	2後		2		1					
	西欧の社会と文化	2前		2		1					
	中国の社会と文化	2後		2							1
	中東の社会と文化	3前		2							1
	イスラムの社会と文化	3後		2							1
	英米文学基礎論	3前		2					1		
	英米文学実践論	3後		2					1		
	スラヴの社会と文化	3・4前		2		1					
	宗教文化とツーリズム	3・4後		2				1			
	小計（10科目）					2	0	1	2	0	2
コミュニケーション系科目	情報社会と倫理	2前		2							1
	地域コミュニケーション	2後		2							1
	異文化コミュニケーション論	2前		2		1					
	スポーツとコーチング	2後		2				1			
	家族社会学	3前		2							1
	メディアコミュニケーション論	3後		2		1					
	産業心理学	3前		2							1
	ダイバーシティ論	3後		2			1				
	ビジネスコミュニケーション論	3・4前		2							1
	視覚化表現とコミュニケーション	3・4後		2					1		
	小計（10科目）					2	1	1	1		5
ゼミナール科目	基礎演習	1通	4			1	0	0	1		6
	専門基礎演習	2通	4			8	6	3	1		
	専門応用演習	3通	4			8	6	3	1		
	卒業論文・卒業研究	4通	4			8	6	3	1		
	小計（4科目）					8	6	3	1	0	6

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間文化系科目	世界史と現代	2前		2							1
	現代社会と宗教	2後		2		1					
	科学哲学	2前		2			1				
	社会思想史	2後		2							1
	表現論	2前		2							1
	文体論	2後		2							1
	道德と教育	3前		2			1				
	社会規範と市民	3後		2			1				
	日本思想論	3前		2							1
	仏教の思想	3後		2							1
	中国思想論	3前		2							1
	ユダヤ教の思想	3前		2		1					
	キリスト教の思想	3後		2		1					
	イスラム教の思想	3後		2							1
	日本史と現代	3前		2							1
	江戸時代の社会と文化	3後		2							1
	日本文学基礎論	3前		2				1			
	日本文学実践論	3後		2				1			
	道德と人間発達	3・4前		2			1				
	社会と芸術	3・4後		2		1					
	比較文学	3・4前		2							1
	我孫子と文学	3・4後		2							1
	小計（22科目）					2	2	1	0	0	8
異文化系科目	国際文化論	2前		2		1					
	都市文化論	2後		2		1					
	西欧の社会と文化	2前		2		1					
	中国の社会と文化	2後		2							1
	中東の社会と文化	3前		2							1
	イスラムの社会と文化	3後		2							1
	英米文学基礎論	3前		2					1		
	英米文学実践論	3後		2					1		
	スラヴの社会と文化	3・4前		2		1					
	宗教文化とツーリズム	3・4後		2				1			
	小計（10科目）					2	0	1	2	0	2
コミュニケーション系科目	情報社会と倫理	2前		2							1
	地域コミュニケーション	2後		2							1
	異文化コミュニケーション論	2前		2		1					
	スポーツとコーチング	2後		2				1			1
	家族社会学	3前		2							1
	メディアコミュニケーション論	3後		2		1					
	産業心理学	3前		2							1
	ダイバーシティ論	3後		2			1				
	ビジネスコミュニケーション論	3・4前		2							1
	視覚化表現とコミュニケーション	3・4後		2					1		
	小計（10科目）					2	1	1	1	0	5
ゼミナール科目	基礎演習	1通	4			5	1	2	1		
	専門基礎演習	2通	4			7	4	3	1		1
	専門応用演習	3通	4			8	6	3	1		
	卒業論文・卒業研究	4通	4			8	6	3	1		
	小計（4科目）					8	6	3	1	0	1

【平成 2 9 年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
言語 スキル 科目	日本語読解 1	1前		1							1
	日本語読解 2	1後		1							1
	日本語作文 1	1前		1							1
	日本語作文 2	1後		1							1
	日本語表記 1	1前		1							1
	日本語表記 2	1後		1							1
	日本語会話 1	1前		1							1
	日本語会話 2	1後		1							1
	日本語特講 1	1・2前		1							2
	日本語特講 2	1・2後		1							2
	日本語理解 1	1・2前		1							1
	日本語理解 2	1・2後		1							1
小計（12科目）						0	0	0	0	0	6
基礎 学問の 知識	日本事情 A	2前		2							3
	日本事情 B	2後		2							3
	小計（2科目）					0	0	0	0	0	3
合計（186科目）						8	7	3	3	0	45
卒業要件及び履修方法											
【卒業要件】 4年以上在学し体系的に教育課程を履修・修得し、卒業に必要な単位として、124単位以上を修得することにより、「学士（教養学）」を授与する。 【履修方法】 ・基盤教育より必修科目26単位を含む50単位以上を修得すること。（留学生対象の日本語科目および「日本事情」科目を含む） ・専門教育より専門基礎「現代社会系科目」「人間文化系科目」「異文化系科目」「コミュニケーション系科目」から各4単位の16単位以上、専門基礎実践科目から4単位以上、「現代社会と人間文化系」「異文化とコミュニケーション系」から28単位以上の合計48単位以上を修得すること。 ・専門教育については、この48単位に加えて、専門教育科目全体（「専門基礎」および「現代社会と人間文化系」「異文化とコミュニケーション系」）から10単位以上修得し、計58単位以上を修得すること。 ・各学年に必修科目として設置されているゼミナール科目16単位を修得すること。 ・履修登録できる最高単位数は各学年42単位とする。											

【平成 3 0 年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
言語 スキル 科目	日本語読解 1	1前		1							1
	日本語読解 2	1後		1							1
	日本語作文 1	1前		1							1
	日本語作文 2	1後		1							1
	日本語表記 1	1前		1							1
	日本語表記 2	1後		1							1
	日本語会話 1	1前		1							1
	日本語会話 2	1後		1							1
	日本語特講 1	1・2前		1							2
	日本語特講 2	1・2後		1							2
	日本語理解 1	1・2前		1							1
	日本語理解 2	1・2後		1							1
小計（12科目）						0	0	0	0	0	6
基礎 学問の 知識	日本事情 A	2前		2							2
	日本事情 B	2後		2							2
	小計（2科目）					0	0	0	0	0	2
合計（186科目）						8	7	3	3	0	39
卒業要件及び履修方法											
【卒業要件】 4年以上在学し体系的に教育課程を履修・修得し、卒業に必要な単位として、124単位以上を修得することにより、「学士（教養学）」を授与する。 【履修方法】 ・基盤教育より必修科目26単位を含む50単位以上を修得すること。（留学生対象の日本語科目および「日本事情」科目を含む） ・専門教育より専門基礎「現代社会系科目」「人間文化系科目」「異文化系科目」「コミュニケーション系科目」から各4単位の16単位以上、専門基礎実践科目から4単位以上、「現代社会と人間文化系」「異文化とコミュニケーション系」から28単位以上の合計48単位以上を修得すること。 ・専門教育については、この48単位に加えて、専門教育科目全体（「専門基礎」および「現代社会と人間文化系」「異文化とコミュニケーション系」）から10単位以上修得し、計58単位以上を修得すること。 ・各学年に必修科目として設置されているゼミナール科目16単位を修得すること。 ・履修登録できる最高単位数は各学年42単位とする。											

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字として記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1 ページ目には認可時又は届出時と報告年度 2 つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成 2 9 年度開設であれば平成 2 8 年度）の表は適宜削除してください。（2 つの表が 1 ページに表示されるようにしてください。）

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
初 年 次 教 育 科 目	現代教養入門Ⅰ	1前	2			3	1				1
	現代教養入門Ⅱ	1後	2			3	1				
	メディアリテラシー	1前	2								
	私たちの生活とコミュニケーション	1後	2			1					
	日本語表現基礎論	1前	2					1			
	日本語表現実践論	1後	2					1			
	小計（6科目）					5	2	1	0	0	1
教 育 科 目	日本語文章作成基礎論	2前	2					1			
	日本語文章作成実践論	2後	2					1			
	小計（2科目）					0	0	1	0	0	0
言 語 ス キ ル 科 目	英語リスニング・スピーキング基礎	1前	1						2		1
	英語リスニング・スピーキング実践	1後	1						2		1
	英語リーディング・ライティング基礎	1前	1						2		1
	英語リーディング・ライティング実践	1後	1						2		1
	コミュニケーション英語基礎 (Writing)	2前	1						2		
	コミュニケーション英語実践 (Writing)	2後		1					2		
	コミュニケーション英語基礎 (Speaking)	2前	1						2		1
	コミュニケーション英語実践 (Speaking)	2後		1					2		1
	英語会話	3前		1							1
	英語会話実践	3後		1							1
	中国語 1	1前		1							1
	中国語 2	1後		1							1
	中国語 3	2前		1							1
	中国語 4	2後		1							1
	コリア語 1	1前		1							1
	コリア語 2	1後		1							1
	コリア語 3	2前		1							1
	コリア語 4	2後		1							1
	ドイツ語 1	1前		1		1					
	ドイツ語 2	1後		1		1					
	ドイツ語 3	2前		1		1					
	ドイツ語 4	2後		1		1					
	フランス語 1	1前		1							1
	フランス語 2	1後		1							1
	フランス語 3	2前		1							1
	フランス語 4	2後		1							1
	小計（26科目）					1	0	0	2	0	6
情 報 ス キ ル 科 目	情報リテラシー	1前	2						1		
	情報処理論の基礎	1後	2						1		
	情報処理論	2前		2					1		
	情報表現論	2後		2					1		
	小計（4科目）					0	0	0	1	0	0
健 康 ス キ ル 科 目	スポーツ健康論	1前		2			1				
	スポーツ実践論	1後		2				1			
	ストレスマネジメント	1前		2							1
	メンタルヘルスとセルフケア	1後		2							1
	小計（4科目）					0	1	1	0	0	1

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
人 文 の 理 解 科 目	哲学概論	1・2前		2			1				
	哲学と市民社会	1・2後		2			1				
	論理学概論	1・2前		2			1				
	論理と言語	1・2後		2			1				
	倫理学Ⅰ	1・2前		2							1
	倫理学Ⅱ	1・2後		2							1
	心理学概論	1・2前		2		1					
	青年の心理	1・2後		2		1					
	歴史学(世界史)Ⅰ	1・2前		2							1
	歴史学(世界史)Ⅱ	1・2後		2							1
	日本史(前近代)	1・2前		2							1
	日本史(近現代)	1・2後		2							1
	小計(12科目)					1	1	0	0	0	3
社 会 の 理 解 科 目	法学概論	1・2前		2			1				
	法と市民	1・2後		2			1				
	憲法概論	1・2前		2			1				
	統治の制度	1・2後		2			1				
	民法総則	1・2前		2							1
	政治学Ⅰ	1・2前		2							1
	政治学Ⅱ	1・2後		2							1
	選挙と政治	1・2後		2							1
	経済と社会	1・2前		2		1					
	経済の歴史	1・2後		2		1					
	社会学	1・2前		2			1				1
	小計(11科目)					1	2	0	0	0	3
自 然 の 理 解 科 目	数学Ⅰ	1・2前		2							1
	数学Ⅱ	1・2後		2							1
	統計学	1・2前		2							1
	数理統計学	1・2後		2							1
	物理学Ⅰ	1・2前		2							1
	物理学Ⅱ	1・2後		2							1
	地球環境論	1・2前		2							1
	自然環境論	1・2後		2							1
	自然科学概論Ⅰ	1・2前		2							1
	自然科学概論Ⅱ	1・2後		2							1
	生物学Ⅰ	1・2前		2							1
	生物学Ⅱ	1・2後		2							1
	小計(12科目)					0	0	0	0	0	5
現 代 社 会 系 科 目	社会思想論	2前		2							1
	社会学の歴史	2後		2			1				
	現代の地域行政	2前		2			1				
	ジェンダー論	2後		2			1				
	流通と消費者	2前		2							1
	現代社会論	2後		2			1				
	小計(6科目)					0	2	0	0	0	2
人 間 文 化 系 科 目	宗教学	2前		2		1					
	現代思想論	2後		2			1				
	発達心理学	2前		2		1					
	認知心理学	2後		2							1
	健康スポーツ科学	2前		2				1			
	小計(5科目)					2	1	1	0	0	1

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
異文化系科目	文化学概論	2前		2		1					
	文化人類学	2前		2				1			
	比較社会論	2後		2			1	1			
	日本文化論	2前		2							1
	比較文化論	2後		2		1					
	小計（5科目）					1	1	2	0	0	1
コミュニケーション系科目	コミュニケーションの基礎	2前		2		1					
	マスコミュニケーション論	2後		2		1					
	メディア文化論	2前		2		1					
	人間科学	2後		2		1	2				
	人間関係論	2後		2							1
	小計（5科目）					2	2	0	0	0	1
専門基礎実践科目	地域と社会	2前		2			1				
	地域連携講座	2後		2			1				
	ボランティア学	2前		2							1
	地域ボランティア実践	2後		2							1
	社会調査法	3前		2							2
	社会調査フィールドワーク	3後		2							1
	外国文化研究Ⅰ	1前		2							1
	外国文化研究Ⅱ	1後		2							1
	異文化社会研修基礎講座	2前		2		1	1				
	異文化社会現地研修	2後		2		1	1				
	小計（10科目）					1	1	0	0	0	4
現代社会系科目	生命科学	2前		2			1				
	生命科学と技術	2後		2			1				
	現代日本の社会と経済	2前		2		1					
	現代アジアの社会と経済	2後		2		1					
	国際関係論	3前		2		1					
	現代世界の政治経済と法	3後		2		1					
	地域と福祉	3前		2							1
	地域と政策	3後		2			1				
	環境と社会	3前		2		1					
	環境問題と水資源	3後		2		1					
	男女共同参画論	3前		2			1				1
	NPO・NGO概論	3後		2							1
	現代社会の流通システム	3前		2							1
	ネット社会の流通	3後		2							1
	労働法の基礎	3前		2							1
	労働法の応用	3後		2							1
	公共政策と政府の役割	3・4前		2			1				
	政府の活動と評価	3・4後		2			1				
	小計（18科目）					3	3	0	0	0	5

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間文化系科目	世界史と現代	2前		2							1
	現代社会と宗教	2後		2		1					
	科学哲学	2前		2			1				
	社会思想史	2後		2							1
	表現論	2前		2							1
	文体論	2後		2							1
	道德と教育	3前		2			1				
	社会規範と市民	3後		2			1				
	日本思想論	3前		2							1
	仏教の思想	3後		2							1
	中国思想論	3前		2							1
	ユダヤ教の思想	3前		2		1					
	キリスト教の思想	3後		2		1					
	イスラム教の思想	3後		2							1
	日本史と現代	3前		2							1
	江戸時代の社会と文化	3後		2							1
	日本文学基礎論	3前		2				1			
	日本文学実践論	3後		2				1			
	道德と人間発達	3・4前		2			1				
	社会と芸術	3・4後		2		1					
	比較文学	3・4前		2							1
	我孫子と文学	3・4後		2							1
	小計（22科目）					2	2	1	0	0	8
異文化系科目	国際文化論	2前		2		1					
	都市文化論	2後		2		1					
	西欧の社会と文化	2前		2		1					
	中国の社会と文化	2後		2							1
	中東の社会と文化	3前		2							1
	イスラムの社会と文化	3後		2							1
	英米文学基礎論	3前		2					1		
	英米文学実践論	3後		2					1		
	スラヴの社会と文化	3・4前		2		1					
	宗教文化とツーリズム	3・4後		2				1			
	小計（10科目）					2	0	1	2	0	2
コミュニケーション系科目	情報社会と倫理	2前		2							1
	地域コミュニケーション	2後		2							1
	異文化コミュニケーション論	2前		2		1					
	スポーツとコーチング	2後		2				1			
	家族社会学(未開講)	3前		2							1
	メディアコミュニケーション論	3後		2		1					
	産業心理学	3前		2							1
	ダイバーシティ論	3後		2			1				
	ビジネスコミュニケーション論	3・4前		2							1
	視覚化表現とコミュニケーション	3・4後		2					1		
	小計（10科目）					2	1	1	1	0	5
ゼミナール科目	基礎演習	1通	4			6	1	2	1		
	専門基礎演習	2通	4			8	5	3	1		
	専門応用演習	3通	4			8	5	3	1		
	卒業論文・卒業研究	4通	4			8	6	3	1		
	小計（4科目）					8	6	3	1	0	0

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
言語 スキル 科目	日本語読解 1	1前		1							1
	日本語読解 2	1後		1							1
	日本語作文 1	1前		1							1
	日本語作文 2	1後		1							1
	日本語表記 1	1前		1							1
	日本語表記 2	1後		1							1
	日本語会話 1	1前		1							1
	日本語会話 2	1後		1							1
	日本語特講 1	1・2前		1							2
	日本語特講 2	1・2後		1							2
	日本語理解 1	1・2前		1							1
	日本語理解 2	1・2後		1							1
	小計（12科目）					0	0	0	0	0	8
基礎 学問の 知識	日本事情 A	2前		2							2
	日本事情 B	2後		2							2
	小計（2科目）					0	0	0	0	0	2
合計（186科目）						8	7	3	3	0	41
卒業要件及び履修方法											
【卒業要件】 4年以上在学し体系的に教育課程を履修・修得し、卒業に必要な単位として、124単位以上を修得することにより、「学士（教養学）」を授与する。 【履修方法】 ・基盤教育より必修科目26単位を含む50単位以上を修得すること。（留学生対象の日本語科目および「日本事情」科目を含む） ・専門教育より専門基礎「現代社会系科目」「人間文化系科目」「異文化系科目」「コミュニケーション系科目」から各4単位の16単位以上、専門基礎実践科目から4単位以上、「現代社会と人間文化系」「異文化とコミュニケーション系」から28単位以上の合計48単位以上を修得すること。 ・専門教育については、この48単位に加えて、専門教育科目全体（「専門基礎」および「現代社会と人間文化系」「異文化とコミュニケーション系」）から10単位以上修得し、計58単位以上を修得すること。 ・各学年に必修科目として設置されているゼミナール科目16単位を修得すること。 ・履修登録できる最高単位数は各学年42単位とする。											

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字として記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

・「現代教養入門Ⅰ」：オムニバス科目担当の林健一氏 H29、H30年度兼任講師、H31年度准教授（専任）採用（認可時申請）のため、「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
・「現代教養入門Ⅱ」：オムニバス科目担当の金子文夫氏 H29年度兼任講師、H30年度教授（専任）採用（認可時申請）のため、「教授3」から「教授2」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・「スポーツ実践論」：青葉幸弘氏 H29年度兼任講師、H30年度講師（専任）採用（認可時申請）のため、「講師1」から「講師0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・「心理学概論」：山田真由美氏 H29年度兼任講師、H30年度教授（専任）採用（認可時申請）のため、「教授1」から「教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・「青年の心理」：山田真由美氏 H29年度兼任講師、H30年度教授（専任）採用（認可時申請）のため、「教授1」から「教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・「経済と社会」：金子文夫氏 H29年度兼任講師、H30年度教授（専任）採用（認可時申請）のため、「教授1」から「教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・「経済の歴史」：金子文夫氏 H29年度兼任講師、H30年度教授（専任）採用（認可時申請）のため、「教授1」から「教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・「社会学」：皆川満寿美氏 H29年度兼任講師、H30年度准教授（専任）採用（認可時申請）のため、「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・「基礎演習」：黒川知文氏、中川淳司氏、BAYASGALAN OYUNTSETSEG氏の3名は未就任、金子文夫氏、山田真由美氏、土屋直人氏、齋藤大輔氏、青葉幸洋氏、土井清美氏の6名はH29年度採用計画（認可時申請）において兼任講師採用であるため、「教授6」から「教授1」、「准教授2」から「准教授0」、「講師2」から「講師0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任6」に変更。

【平成30年度】

・「現代教養入門Ⅰ」：オムニバス科目担当の林健一氏 H30年度兼任講師、H31年度准教授（専任）採用（認可時申請）のため、「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・熊谷順子兼任（講師）が担当科目の一部を辞退したため、コミュニケーション英語基礎（Writing）を峯（佐藤）真依子助教（専任）、コミュニケーション英語実践（Writing）を菅原大一太助教（専任）（いずれも教員審査済）に変更したため、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
・「現代の地域行政」：林健一氏 H30年度兼任講師、H31年度准教授（専任）採用（認可時申請）のため、「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・「文化人類学」：土井清美氏 H30年度兼任講師、H31年度講師（専任）採用（認可時申請）のため、「講師1」から「講師0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・「比較社会論」：オムニバス科目担当の土井清美氏 H30年度兼任講師、H31年度講師（専任）採用（認可時申請）のため、「講師1」から「講師0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・「地域と社会」：林健一氏 H30年度兼任講師、H31年度准教授（専任）採用（認可時申請）のため、「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・「地域連携講座」：林健一氏 H30年度兼任講師、H31年度准教授（専任）採用（認可時申請）のため、「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・「基礎演習」：中川淳司氏、BAYASGALAN OYUNTSETSEG氏の2名は未就任（認可時申請）のため「教授6」から「教授5」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
・「専門基礎演習」：中川淳司氏、BAYASGALAN OYUNTSETSEG氏の2名は未就任（認可時申請）、林健一氏 H30年度兼任講師、H31年度准教授（専任）採用（認可時申請）のため、「教授8」から「教授7」、「准教授6」から「准教授4」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・共同設置科目である「日本事情A・日本事情B」は、当初商学部所属の3名の兼任教員で担当する予定であったが、商学部内の科目調整により2名で担当することとなったため、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。

【令和元年度】

・留意事項に対応するため、「社会調査法」を担当する兼任講師を1名採用した。「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
・「異文化社会研修基礎講座」：異文化社会教育の充実のため「教授・専任」を1名追加配置した（AC教員審査済）。「教授0」から「教授1」に変更。
・「異文化社会現地研修」：異文化現地研修教育の充実のため「教授・専任」を1名追加配置した（AC教員審査済）。「教授0」から「教授1」に変更。
・「社会学」：皆川満寿美准教授（専任）の病気休職期間の一時対応のため、兼任講師を採用した。「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・「男女共同参画論」：皆川満寿美准教授（専任）の病気休職期間の一時対応のため、兼任講師を採用した。「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・「基礎演習」：皆川満寿美准教授（専任）の病気休職のため「准教授2」から「准教授1」に変更。（他の専任教員で担当可能であったため、学生の履修に支障はない。）
・「専門基礎演習」：皆川満寿美准教授（専任）の病気休職のため「准教授6」から「准教授5」に変更。（他の専任教員で担当可能であったため、学生の履修に支障はない。）
・「専門応用演習」：皆川満寿美准教授（専任）の病気休職のため「准教授6」から「准教授5」に変更。（他の専任教員で担当可能であったため、学生の履修に支障はない。）
・「日本語表記2」：井戸美里兼任講師が前期で退職のため9月より鈴木栄子兼任講師を採用。「兼任・兼任1」の変更はなし

【令和２年度】

・「社会学」：皆川満寿美准教授（専任）復職のため兼任講師退職「兼任・兼任１」を「兼任・兼任０」に変更。 ・「男女共同参画論」：皆川満寿美准教授（専任）復職ため、兼任講師退職。「兼任・兼任１」を「兼任・兼任０」に変更。 ・「基礎演習」：皆川満寿美准教授（専任）復職のため「准教授１」を「准教授２」に変更。 ・「専門基礎演習」：皆川満寿美准教授（専任）復職ため「准教授５」を「准教授６」に変更。 ・「専門応用演習」：皆川満寿美准教授（専任）復職のため「准教授５」を「准教授６」に変更。 ・「英語リスニング・スピーキング基礎」：峯真依子助教（専任）が講師（専任）に昇格のため「講師０」を「講師１」、「助教２」を「助教１」に変更。 ・「英語リスニング・スピーキング実践」：峯真依子助教（専任）が講師（専任）に昇格のため「講師０」を「講師１」、「助教２」を「助教１」に変更。 ・「英語リーディング・ライティング基礎」：峯真依子助教（専任）が講師（専任）に昇格のため「講師０」を「講師１」、「助教２」を「助教１」に変更。 ・「英語リーディング・ライティング実践」：峯真依子助教（専任）が講師（専任）に昇格「講師０」を「講師１」、「助教２」を「助教１」に変更。 ・「コミュニケーション英語基礎（Writing）」：峯真依子助教（専任）が講師（専任）に昇格「講師０」を「講師１」、「助教２」を「助教１」に変更。 ・「コミュニケーション英語実践（Writing）」：峯真依子助教（専任）が講師（専任）に昇格「講師０」を「講師１」、「助教２」を「助教１」に変更。 ・「コミュニケーション英語基礎（Speaking）」：峯真依子助教（専任）が講師（専任）に昇格「講師０」を「講師１」、「助教２」を「助教１」に変更。 ・「コミュニケーション英語実践（Speaking）」：峯真依子助教（専任）が講師（専任）に昇格「講師０」を「講師１」、「助教２」を「助教１」に変更。 ・「英米文学実践論」：峯真依子助教（専任）が講師（専任）に昇格「講師０」を「講師１」、「助教１」を「助教０」に変更。 ・「日本語表記２」：鈴木栄子兼任講師が退職のため杉本雅子兼任講師を採用。「兼任・兼任１」は変更なし。 ・「情報リテラシー」：急遽、藤堂英樹助教（専任）の退職が決定。やむを得ない事情から、後任として兼任講師を採用。当該科目の後任教員（専任）につきましては、現在ＡＣ教員審査にて審査中（令和２年３月に申請、結果は５月末の予定）。「助教１」を「助教０」に「兼任・兼任０」を「兼任・兼任１」に変更。 ・「情報処理論の基礎」：急遽、藤堂英樹助教（専任）の退職が決定。やむを得ない事情から、後任として兼任講師を採用。当該科目の後任教員（専任）につきましては、現在ＡＣ教員審査にて審査中（令和２年３月に申請、結果は５月末の予定）。「助教１」を「助教０」、「兼任・兼任０」を「兼任・兼任１」に変更。 ・「情報表現論」：急遽、藤堂英樹助教（専任）の退職が決定。やむを得ない事情から、後任として兼任講師を採用。当該科目の後任教員（専任）につきましては、現在ＡＣ教員審査にて審査中（令和２年３月に申請、結果は５月末の予定）。「助教１」を「助教０」、「兼任・兼任０」を「兼任・兼任１」に変更。 ・「視覚化表現とコミュニケーション」：急遽、藤堂英樹助教（専任）の退職が決定。やむを得ない事情から、後任として兼任講師を採用。当該科目の後任教員（専任）につきましては、現在ＡＣ教員審査にて審査中（令和２年３月に申請、結果は５月末の予定）。「助教１」を「助教０」、「兼任・兼任０」を「兼任・兼任１」に変更。 ・「基礎演習」：急遽、藤堂英樹助教（専任）の退職が決定。ゼミナール科目であるため後任は他の専任教員で担当する。当該科目の後任教員（専任）につきましては、現在ＡＣ教員審査にて審査中（令和２年３月に申請、結果は５月末の予定）。「助教１」を「助教０」に変更。 ・「専門基礎演習」：急遽、藤堂英樹助教（専任）の退職が決定。ゼミナール科目であるため後任は他の専任教員で担当する。当該科目の後任教員（専任）につきましては、現在ＡＣ教員審査にて審査中（令和２年３月に申請、結果は５月末の予定）。「助教１」を「助教０」に変更。 ・「専門応用演習」：急遽、藤堂英樹助教（専任）の退職が決定。ゼミナール科目であるため後任は他の専任教員で担当する。当該科目の後任教員（専任）につきましては、現在ＡＣ教員審査にて審査中（令和２年３月に申請、結果は５月末の予定）。「助教１」を「助教０」に変更。 ・「卒業論文・卒業研究」：急遽、藤堂英樹助教（専任）の退職が決定、当該科目については、前提科目や本人分野との関係から、学生の不利益とならないように、専任から兼任教員にに変更し引き続き担当。当該科目の後任教員（専任）につきましては、現在ＡＣ教員審査にて審査中（令和２年３月に申請、結果は５月末の予定）。「助教１」を「助教０」、「兼任・兼任０」を「兼任・兼任１」に変更。 ・「情報処理論」：急遽、藤堂英樹助教（専任）の退職が決定。当該科目については、本人分野との関係から、学生の不利益とならないように、専任から兼任教員にに変更し引き続き担当。当該科目の後任教員（専任）につきましては、現在ＡＣ教員審査にて審査中（令和２年３月に申請、結果は５月末の予定）。「助教１」を「助教０」、「兼任・兼任０」を「兼任・兼任１」に変更。
※ 統一のため、（専任）の表記を過年度においても修正しました。

- （注） ・ ２（１）－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
20 科目	166 科目	0 科目	186 科目	20 [0]	166 科目 [0]	0 科目 [0]	186 科目 [0]	

- （注） ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	異文化社会基礎研修	2	2	専門	選択	・異文化社会基礎研修及び異文化社会現地研修は連動している旨、代替案として検討したも、日本国内においてもコロナの影響があり、今回は延期の対応をとった。しかし、引き続き、学生のために最善を尽くすため、代替措置について、引き続き、学内の検討委員会等にて対応を検討をしていく。(2)
2	異文化社会現地研修	2	2	専門	選択	・異文化社会基礎研修及び異文化社会現地研修は連動している旨、代替案として検討したも、日本国内においてもコロナの影響があり、今回は延期の対応をとった。しかし、引き続き、学生のために最善を尽くすため、代替措置について、引き続き、学内の検討委員会等にて対応を検討をしていく。(2)
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし。					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・未開講科目は、全科目とも履修希望者がいなかったため。(30) ・未開講科目は、全科目とも履修希望者がいなかったため。(元) ・「外国文化研究Ⅰ」「外国文化研究Ⅱ」は、両科目とも履修希望者がいなかったため。(2) ・「異文化社会基礎研修」「異文化社会現地研修」の中止（延期）について。 世界的な新型コロナウイルス感染症の発生に伴い「異文化社会基礎研修」「異文化社会現地研修」を延期とした。経過は、以下のとおり。 令和2年度実施予定科目「異文化社会現地研修」は、その実施に向けて前年度より中国大連外国語大学を中心に準備を進め、研修内容が固まっていた。ところが、令和2年1月～3月において中国国内での新型コロナウイルス感染症患者の増加に伴い、現地との意見調整も行った結果、学生・保護者の不安や健康上の安全確保が難しいと判断し、令和2年度の実施予定地である中国での「異文化社会現地研修」と、連動科目である「異文化社会基礎研修」とともに翌年度に延期することとした。 また、当該科目の延期に伴う教育の質保証を担保するため、日本国内における代替案の検討も行ったが、日本においても、感染者の増加現象が確認されたため、学生・教職員の健康と安全を最優先に考え、代替案も中止せざるを得なかった。その後、移動自粛を求める政府の緊急事態宣言も発表された。 当該開講科目を令和3年度に実施するにあたり、カリキュラムポリシーに基づき、教育充実委員会、教務委員会を中心に教育効果をさらに高める研修内容を検討することにより、教育の質保障を担保することとした。 以上の延期は、令和2年度のシラバス等で周知徹底した。(2)
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	=	$\frac{2}{186}$	=	1.07 %
設置時の計画の授業科目数の計(A)				

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容						備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	40,047 m ²	－ m ²		－ m ²	40,047 m ²				
	運動場用地	78,136 m ²	－ m ²		－ m ²	78,136 m ²				
	小 計	118,183 m ²	－ m ²		－ m ²	118,183 m ²				
	そ の 他	18,149 m ²	－ m ²		－ m ²	18,149 m ²				
	合 計	136,332 m ²	－ m ²		－ m ²	136,332 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用	計				
		39,465 m ² (39,465 m ²)	－ m ² (－ m ²)		－ m ² (－ m ²)	39,465 m ² (39,465 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室		情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		40室	20室	0室		6室 (補助職員 0人)	4室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称				室 数				
		現代教養学部 現代教養学科				21 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での 特定が不能なため、 大学全体の数	
		現代教養学部	315,760 〔76,796〕 (311,962 〔79,807〕)	2,289 〔620〕 (2,317 〔618〕)	6 〔6〕 5 〔5〕	5,954 5,672	0 0	0 0		
		計	315,760 〔76,796〕 (311,962 〔79,807〕)	2,289 〔620〕 (2,317 〔618〕)	6 〔6〕 5 〔5〕	5,954 5,672	0 0	0 0		
	(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					大学全体
	2,866 m ²	376 席		305,528 冊						
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						大学全体	
		3,754 m ²	野球場1面、ゴルフ練習場				テニスコート6面、サッカー場1面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度		区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	発注後、入手不可能・値下りした 書籍等があった為 (29) 発注後、入手不可能・値下りした 書籍等があった為 (30) 入学者未充足による情報端末購入 数調整の為 (29) 開設前年度については、平成29年 度寄付行為履行状況報告書にて千 円未満の取り扱いが異なっていた 為 (30) 開設年度については、平成30年 度入学予定者分の情報端末購入時期 を平成29年度末に変更した為 (平 成29年7月18日文部科学省相談済) (30)
		教員 1 人当り研究費等	350千円	350千円		図書購入費	9,982 10,354千円	4,663 5,335千円	3,842千円	
		共同研究費等	1,000千円	2,100千円		設備購入費	3,083 3,082 3,132千円	21,555 10,374 17,215千円	0千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		図書費には電子ジャーナル・デー タベースの整備費 (運用コスト含む) を含む。	
	1,300千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	－ 千円	－ 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			寄付金、手数料収入、補助金収入等により維持します。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		中 央 学 院 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
現代教養学部	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
現代教養学科	4	100	-	400	学士 (教養学)	0.93	1.16	-	平成29年度	千葉県我孫子市 久寺家451番地	平成29年度設置
商学部											
商学科	4	360	-	1,440	学士 (商学)	1.24	1.23	-	昭和41年度	同上	平成29年度より 入学定員変更(△60)
法学部											
法学科	4	260	-	1,040	学士 (法学)	1.25	1.22	-	昭和60年度	同上	平成29年度より 入学定員変更(△40)
大学全体	4	720	-	2,880	-	1.20	1.21	-	-	-	
大 学 の 名 称		中 央 学 院 大 学 大 学 院									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
商学研究科	年	人	年次 人	人		倍	倍				
商学専攻 (修士課程)	2	10	-	20	修士 (商学)	1.00	0.90	-	平成18年度	千葉県我孫子市 久寺家451番地	
大学全体	2	10	-	20	修士 (商学)	1.00	0.90	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。